



## うさぎぐみだより



2022年3月1日  
社会福祉法人尚徳福祉会  
保育園与那原ベアーズ

寒さの峠を越え、これからは、春の季節に向かい、温かい日も増えてきますね。二月は北風が寒い日も多かったですが、晴れ間を見つけては戸外に出て、体を動かせるようになってきました。散歩では、草花を見に行き自然を感じたり、工事車両や大型バスなどを道路沿いで見て楽しんだりしました。近頃は更に言葉の獲得が進み、見たものを言葉にして楽しむ姿もよく見られ、成長を感じます。今月は温かさも取り戻し、戸外でも過ごしやすくなっていきますので、更に戸外で過ごす時間を多く持ち、うさぎ組最後の一か月を元気いっぱい過ごしていきたいと思えます。

### 1年間を振り返って

入園した頃は泣いておうちの人から離れられなかった子どもたちが、今では、笑顔で登園し「ばいばい」が出来るようになり、保育園がご家庭と同じように安心できる場所になった事に成長を感じる一年でした。保護者の皆さんにはこの一年クラス運営にご理解、ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

今回で最後のクラスだよりとなりますので、一年間の成長を振り返ってみたいと思います。

#### ～人間関係～

保育者との信頼関係の中、安心して保育園生活が送れるようになり、友だちにも親しみが持てるようになりました。友だちの名前を読んで一緒に遊ぶ

#### ～排泄～

トイレに座ることに意欲を持ち、タイミングが合うと排尿をする事もあります。また、個人差はありますが、中には綿パンツを穿くことに喜び、トイレトトレーニングを少しずつ進めています。

#### ～言葉～

保育者の言葉を真似したり、友だちの名前を呼んで言葉でのやり取りを楽しむ姿があったりと、個々に発語を楽しむ様子が見られます。言葉が足りずに喧嘩になることもありますが、その経験をする中で更に、やり取りの仕方を覚えている所です。

#### ～着脱～

保育者に手伝ってもらいながら、自分で洋服を脱ぎ、自分で着ようとする姿が増えました。全部一人でやりたがる子どももいます。

#### ～食事～

一年を通して、食具を下手持ちで持てるように働きかけてきました。中には自然と三点持ちで持てるようになっている子どももいます。また、器を反対の手で添えることや、姿勢を保って食べること等の言葉掛けもしています。

